

令和6年度 第2回木更津市図書館協議会 報告書

- 1 会議名 令和6年度 第2回木更津市図書館協議会
- 2 開催日時 令和7年3月21日（金）午後2時00分～午後3時30分
- 3 開催会場 木更津市立図書館 大会議室
- 4 出席者名 小山百合子委員 鳥飼万希子委員 須磨谷幸子委員
中原まどか委員 桂啓之委員
北村晴美館長
事務局 石渡恵副館長 遠藤幸江副主幹
鵜田洋平企画部地域政策室まちづくり係長（協議事項②説明のため）

5 協議事項

- （1）教育長あいさつ
- （2）議長あいさつ
- （3）協議事項
 - ①令和7年度の事業計画について
 - ②吾妻公園文化芸術施設基本設計について報告

- 6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人0人

7 資料

- 令和6年度第2回木更津市図書館協議会 次第
令和6年度第2回木更津市図書館協議会 席次
令和7年度図書館事業計画（案）
令和6年度予算支出状況及び令和7年度当初予算
吾妻公園文化芸術施設に係る基本設計について （資料1）
平面図 （資料2）
オープンハウス型説明会、住民説明会の結果概要 （資料3）

8 会議の内容

（事務局）

ただ今より令和6年度第2回図書館協議会を開催いたします。協議会の開催にあたり本日の会議について報告いたします。本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されております。本日の傍聴人はおりません。また、本日の会議は、委員10名中、5名の出席であり、欠席は5名ございます。従いまして、図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により、委員

の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。以上、ご報告いたします。

では、はじめに廣部教育長よりご挨拶を申し上げます。

(廣部教育長)

本日は桂議長はじめ委員の皆様方には、年度末の平日午後の開催ということで、大変ご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

木更津市立図書館は昭和4年に開設され、長い間木更津の歴史を見てきてくれました。今年度は開館95周年を記念しまして、中学生対象の「子ども司書養成講座目指せ! Kisa Librarian!」の開催や、古い絵葉書で昔の房総を懐かしんでもらう展示などを開催いたしました。つい先日は95周年記念事業を締めるイベントとして、直木賞作家の桜庭一樹さんをお迎えし、文芸講演会を開催いたしました。私も拝聴しました。いずれの事業も参加者から好評を得ることができ、それぞれの事業やイベントが読書活動推進に寄与できたものと感じています。

本日は令和7年度図書館事業計画と、吾妻公園文化芸術施設の基本設計について後ほど担当課職員より報告があるようです。今年度末に基本設計が終わりますが、ご意見、要望等をいただき、来年度策定予定の実施設設計へ活かして参りたいと考えております。

最後になりますけれども、委員の皆様方の任期もこれで一区切りということになります。任期中、図書館へご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

本日も令和7年度の図書館運営に向け、活発なご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

廣部教育長退席

(事務局)

続きまして、桂議長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

(桂議長)

皆さんこんにちは。

今日は図書館協議会第2回目となります。今回最後の会議を滞りなく進めたいと思いますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは会議に移ります。

はじめに、議題の(1)令和7年度の事業計画について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

図書館の石渡と申します。よろしくお願いいたします。

ではお配りしました7年度事業計画についてご説明いたします。

時間の関係で主だったもののみの説明となりますがご了承ください。

口頭になりますが今年度の実績を踏まえてご説明いたします。

4 番の「保育園等おはなし会」ですが、今年度は、桜井保育園、わかば保育園、久津間保育園、なかごう保育園、むつみ保育園、請西保育園、請西子育て支援センターの 7 施設から依頼があり、職員が訪問または園児が来館し、おはなし会を開催いたしました。そのうち、図書館の利用団体の派遣でもよいという回答があった、桜井保育園、なかごう保育園、むつみ保育園につきましては、図書館利用サークルに協力をしてもらいました。いずれもその対象月齢に合った素話や絵本の読み聞かせを行い、幼児期の読書活動を推進することができました。1 年間で延べ人数 2, 0 8 9 人の子どもたちにお話を届けることができました。令和 7 年度も図書館利用団体と協力、連携をしながら保育園等でのおはなし会を開催していきます。

続きまして 6 番の「ブックスタート事業」ですが、こちらは、次年度のボランティア継続調査を行ったところ、28 人の方が協力をしてくださるということで、引き続き検診会場で絵本の読み聞かせとブックスタートパックのプレゼントの実施をしていきます。

なお、今年度はあと 1 回残っていますが、現時点で 37 回開催し、850 組の親子にブックスタートを実施いたしました。関連といたしまして、7 番の「ブックスタートスキルアップ講座」というものの開催を予定しております。こちらは現在活動しているブックスタートボランティアのスキルアップのための研修です。内容は最新の子育て情報を学ぶ機会やブックスタートの意義を再確認する内容を予定しており、よりよいブックスタートができるように研修を行うものです。

9 番の「夏休み企画 図書館に行こう！」ですが、令和 7 年度は一部内容の見直しを検討しています。例年、夏休み企画は 3 本行っておりまして、「工作教室」と「こわ〜いおはなし会」と「1 日図書館員体験」を行って好評でしたが、以前図書館協議会で夏休みの宿題に対応できる内容、例えば読書感想文の書き方講座などの開催についてご意見がありました。このご意見をふまえ、図書館の職員だけではなく、学校教育課やまなび支援センター、読書相談員等の関係機関の職員と連携して何かできればと考えています。「こわ〜いおはなし会」や、「1 日図書館員体験」は、引き続き開催を予定しています。

12 番は、先ほど教育長の挨拶にもありましたが、今年度、新規事業として取り組みました「子ども司書養成講座目指せ！Kisa Librarian！」です。こちらは今年度の新規事業として開催したところ、参加者からとても好評を得ることができました。この事業に参加し、将来は司書を目指したいと思ったなどの感想もありました。また、図書館としても中学生と直にコミュニケーションをとることができたので、今の中学生がどんなことを考えているのか、どんなものを好むのかなどを知る貴重な機会となりました。次年度以降も継続して開催を予定し

ています。

15番の企画展示ですが、今年度は開館95周年記念事業の一環として、令和6年12月13日から12月18日まで「絵葉書でみる昔の房総・たぬきコレクション」を開催しました。短い期間にも関わらず372人の来場がありました。中には子ども時代の風景を懐かしみ涙ぐむ人や、昔の木更津の様子を小学生と保護者が会話をしながら楽しむなど、幅広い年代に楽しんでもらえました。たぬきも久しぶりに外の空気を吸うことができ、多くの方に見てもらい喜んでいただけたのではないかと思います。新年度も、当館のコレクション（マッチ箱など）から木更津を感じる展示を開催できればと考えています。

18番の講師派遣事業になりますが、今年度は例年お呼びいただく公民館等のほかに、まなび支援センターや木更津東高校、高齢者サロン、通所支援所など幅広くお声がけをいただきました。新年度も可能な限り要望にお応えし、読書活動の種を撒いていきたいと思っています。

例年開催していた絵本講座は、生涯学習課が担当している出前講座の中に入れていただきますので、新年度は希望があった団体へ出向き、講座を開くようにしようと考えています。

30番の郷土資料デジタルアーカイブですが、先ほど述べました「絵葉書でみる昔の房総」の会場で展示をしていた古い絵はがきをスキャンし、電子図書のページで公開しています。こちらも今後、定期的に公開の点数を増やしていこうと思っています。デジタルアーカイブは著作権上の問題もありますので、図書館が持っているからといってすべての古い本を公開するというわけにはいかないのですが、絵はがきとかのように著作権の切れたものに関して、なるべくいろんな方に知ってもらうという、意味を込めて公開していければなと思っています。

31番は、令和10年度の図書館移転に向けて、スムーズに引っ越し作業ができるように文化芸術施設の設計と並行して蔵書管理等の計画を策定します。

以上を持ちまして令和7年度事業計画といたします。

なお、令和6年度予算支出状況及び令和7年度当初予算を一覧にした資料もお配りしていますので、ご覧いただければと思います。

（桂議長）

ありがとうございました。

ただいま事務局より説明がありましたが、令和7年度事業計画、令和6年度予算支出状況及び令和7年度予算について、何かご質問はありますか。

ちなみに、各種行事費については、今年度は少なかったから次年度も少なくするってことですか。

（事務局）

特に今年度少ないというわけではなくて現状維持というところですよ。あとはお金をかけずに職員でできることをやっていくってことになります。

(桂議長)

よくわかりました。

他にご質問、ありませんか。

(鳥飼委員)

図書館だより「みんなの図書館」は、図書館のことがとてもよくわかる紙面で、写真もいっぱい載っていて、利用者さんも楽しみにしていると思います。その部分で地域性に合わせて、あと、世代に応じた広報誌の発行とか、ホームページとかSNSで情報発信してもらえるといいなと思います。

私は、どこの会議に出ても「小学生の読書する時間が短い」とか「読書する機会がない」という話を聞きます。

すべての世代の皆さんが読書に興味や関心を持ってもらえるように、また、読書の普及啓発を図書館の方にしてもらえたらいいなと思います。

あと、ボランティアの方の中で、読み聞かせのボランティアの方が地域で活動しているのですが、その方から、「図書館で読み聞かせ講座のようなものがあるといいな」とお話をありました。講座ができなくても、ホームページとか広報の中でちょっとしたワンポイントアドバイスのものを出してもらえるといいと思います。「高齢者向けではどういう本を読んだらいいのか」「紙芝居はどんなものが子どもたちや高齢者に喜ばれるのか」などを知りたいということもありました。その時図書館をご紹介しているのですが、そういうボランティアの方が増えてきているので、ボランティアの方に向けても発信してもらえたらいいなと思います。以上です。

(桂議長)

そのボランティアっていうのは、公民館とかそういう関係ですか。

(鳥飼委員)

公民館とかではなく、学校支援ボランティアの方もいますが、他にも地域で高齢者のカフェとか、そういったところで読み聞かせをやっている方もいます。

(桂議長)

図書館に相談とかっていうのはあんまりないですか。一般ボランティアの方は。

(事務局)

読み聞かせなどをやりたいという方がいらっしゃる場合は、図書館で活動しているサークルが2団体ありますので、そちらの紹介をしています。図書館で人を育てて活用というところまでは及んでいない状態ではあります。

(中原委員)

7年度の事業計画の説明はありましたが、令和6年度事業計画の報告はしないですか。

(事務局)

令和6年度の事業報告は次年度初回でいたします。

令和7年度の計画を説明するにあたり、今年度の成果を述べることで、比較しやすいかと思い口頭で報告をいたしました。

(桂議長)

保育園のおはなし会について、サークルの応援っていうのは、募集してサークル員になってもらうのですか。

(事務局)

すでに今2つの団体がいますので、その会にお願いして、その会の中で調整していただいています。

鳥飼委員退席

(桂議長)

令和7年度も、計画に沿って図書館事業を展開いただければと思います。

では、次へ進みたいと思います。

続きまして、議題の(2)の「吾妻公園文化芸術施設基本設計について報告」とありますが、説明をお願いいたします。

(企画部地域政策室まちづくり係長)

企画部地域政策室の鴛田と申します。

昨年度一度協議会にお招きいただき、検討委員会を立ち上げ計画を策定していきますとのご報告をいたしました。今年度はそこで策定をいたしました計画に基づきまして、基本設計ということで、施設の具体的な形や配置を今決めているような状況でございます。

その基本設計の取りまとめに当たりまして、木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会に引き続き中原委員のご出席をいただきながら、あとは市民の方々に対する説明会、図書館の館長、副館長を含め現場の方々のお話も伺いながら、基本設計の取りまとめをしている状況でございます。

今日は現段階での案ということで、ご覧いただければなと思っています。資料1にも書いてありますが、やはり全国的に建設資材がかなり高騰している状況もございます。とはいえ、青天井でお金をかけていいものでもなく、昨年度の計画の中で、この整備事業に関しましては、105億1700万円の中で、何とか進めていまいと準備をしております。整備事業を進めるために、延床面積や仕様の一部見直しを行いながら設計を取りまとめている状況になっております。

資料の2は地下1階の平面図になっております。この図面は方位が書いてないのですが右側が北で左側が南、上側が西、下側が東になっております。吾妻公

園は海に面しておりますので上側に海が来る、下側に県道87号、中野畑沢線が来るような、そんな配置になっております。

地下1階ですけれども、駐車場を一部設けておりまして、全面を駐車場として整備をしたいと考えていたのですけれども、建築コストの調整等もございまして、一部分のみに限らせていただきました。とはいえ、やはり雨に濡れずに、入館できる配慮はどうしても必要ですので、若干ではありますけれども駐車場を配置しているような形になっております。加えて車寄せですとか、荷さばきの駐車場を設けまして、濡れずに降りていただくようなところも検討しております。

2枚目、施設の1階部分になります。大屋根広場というところが公園の屋外部分になりまして、屋外のところから繋がる前にエントランスがあるようになっております。総合受付やホール、ホワイエ、奥の方にはスタジオを配置しております。

図面の右下は、施設の北側にあたりますが、入口を1つ設けております。あとでまた公園の全体の配置をご覧くださいませけれども、施設の北側には大きく駐車場をとっておりますので、そちらから直接施設に入ることのできるように、北側にも入口を検討しております。

右下の部分ですがスタジオ大会議室、会議室といった部分で、公民館の部分として主に北東に配置をしております。

舞台ホールは今までの市民会館でやっていたような演目が、引き続きできるようにということで、今年度、文化協会の方々などにもヒアリングをさせていただきながら、舞台の大きさを調整している状況でございます。

図面でいきますと左上の部分ですが、図書館のエリアになっておりまして、1階部分は児童エリアで、こども・親子スペースということで、割とちいさいお子さんたちがいらっしゃる様子を想定しております。

今度は2階部分の平面図になっております。全体的に見ますとホールの上になりますので、ホールを囲うような形で図書館を配置するような形になっております。このホールを囲うように壁を書架にしまして、ナレτζジウォールと設計業者は呼んでおりますけれども、壁でもあり書架でもあるというところで、回遊しながら図書をご覧くださいというところを考えているところでございます。一般開架に関しましては、現状の図書館の書架がかなり狭いというお話も伺っておりましたので、基本的には車椅子の方でもスムーズに利用できる幅は確保したいと考えているところでございます。

3階部分になります。黄色の部分は共用部ということで、機械室などこの施設全体で共有をしていく部分となります。デジタルライブラリーに隣接したところは、市民の方々が気軽に立ち寄れるエリアになっております。図書館のエリアに関しましては、先ほどの1階2階とは少し変えまして、郷土資料や閉架書庫

というところで、少し落ち着いて図書をご覧いただくようなエリアになるかと思っております。

また、貴重な資料もございますことから、この辺は部屋として区切れるように、今後検討を進めていきたいと考えております。

図面の左側には展望ラウンジ、展望広場を設置しておりまして、中の島大橋とか富士山が見えるというような配置になっておりますので、気軽に立ち寄り眺望を楽しみながら読書をしていただけるような広場にしていきたいと考えております。

4階部分や屋上階は人が入るようなところではなく、機械室や電気室を配置してございます。

公園全体の配置図ですが、南北に細長い公園の形状で、中央左の方が文化芸術施設になっておりまして、その右側に青空広場、でさらに北側に常設駐車場を設けております。

常設駐車場だけで約210台の駐車が可能です。イベントの際には、青空広場やスポーツ広場も臨時駐車場として使え、全体では約430台の駐車台数は確保したいと考えております。それでも、大きなイベントで足りないときには、さらに図面上側に県の管理する公園があり、そちらに駐車場があります。あとは、公園の右側に吾妻保育園があり駐車場が整備されており、休園日など保育園で使用しない場合は貸していただけるよう協議しているところです。

文化芸術施設の延床面積につきましては、昨年度計画を作ったときには、全体で8,300平米、ホールについては2,500平米、図書館については、図書館整備計画での面積をもとに2400平米、中央公民館は1,000平米、共用部2,400平米で設定をさせていただいたところでございます。

先ほど建築資材の価格高騰等も踏まえてちょっと面積縮小というお話をしましたけれども、今回の基本設計の中では、少しずつスケールダウンをさせていただいている状況になっておりますが、図書館部分に関しては計画とほぼ同様の面積を確保する予定でございます。

続きましてオープンハウス型説明会住民説明会の開催概要です。

先ほど申し上げましたとおり、この基本設計を取りまとめにあたって市民の方々、さらにその施設を利用されている方々からもきちんとお話を伺うべきだろうということで、まずオープンハウス型説明会を開催しました。これはパネルや模型を展示いたしまして、好きな時間に来ていただいて、待機している職員に質問していただいてそれにお答えしてご説明をする形の説明会です。2月1日の午前中9時から12時まで図書館を会場に説明会をやらせていただきました。

延べ75名の方々に来ていただきまして、午後は中央公民館で52名ほどに来ていただきました。

主な意見といたしましては、ホールの音響はしっかりしたものにしたい、公園は小さな子どもが遊べる広場にしたい、あとは場所が遠いので駅からバスを走らせてもらいたいというような、お声をいただきました。

他には住民説明会を開催し、こちらはこれまでも同じような説明会を開催していますが、今回は中央公民館多目的ホールを会場に、2月16日の日曜日に開催をさせていただきました。当日は44名の方にご参加をいただきまして、その中の36名からアンケートのご回答をいただいたところでございます。主な意見といたしましては、公民館で今と同じサークル活動ができるのか、公園の雨水排水の計画は大丈夫か、駅から遠いため高校生が通えないのではないか、というようなお声をいただきました。

住民説明会はオンラインでも2月18日火曜日の夜7時に開催をさせていただきました。こちらには21名の方にご参加をいただきまして、先ほどと同様、参加された方々14名からアンケート回答をいただいたところでございます。

いただいたご意見といたしましては、ホールに関しましては音響反射板やピアノはいいものを設置してほしい、図書館に関しては蔵書をさらに充実させてほしい、公園に関してはカフェの利用はペット連れでも利用可能にしてほしいというようなご意見をいただいたところでございました。

以上が、これまでにいただいたご意見ということになっております。

また、先日、最後の検討委員会が開催されまして、そこでいただいたご意見をご紹介します。

新たな公共施設、公共的な公園づくりというようなところを目指し、進めてきたところでございますので、青空広場の配置等を含め今の方針は維持しつつ、一層のブラッシュアップを図ってほしい、図書館と公民館の配置を含めた細かいところに関しましては、実施設計の中で引き続き検討してほしい、利用者や若い世代への説明をもっと丁寧に実施された方がいいのではないかとのご意見をいただきました。

特に先ほど申し上げたオープンハウス型説明会は、これまでやってこなかった新しい試みですけれども、割と若い方々特に図書館では中学生にもご参加をいただいたりですとか、中央公民館では、自習スペースを利用している高校生が寄ってきていただいたりですとか、それぞれ親子連れの方が来ていただいたりということで、予想よりも幅広くご参加をいただけました。

実際に図書館を使っている方々からも、非常に前向きなご意見ですとか建設的なご意見をいただいたところでございます。

今後の予定になりますが、今年度は令和7年3月末までに基本設計の取りまとめをさせていただきまして、来年度はさらに細かい実施設計を実施する予定でございます。

実施設計に当たりましては、図書館エリアのどの辺に書架が来て、どうレイアウトすれば利用されやすいのか、図書が読みやすいのか、落ち着いて本を読めるスペースはどこの部分にあったらいいかなどを細かく検討していく予定です。

来年度も引き続き図書館と協力しながら進めていきたいと考えているところでございます。

今年度の基本設計の内容説明は以上となります。

(桂議長)

ただいま鴫田企画部地域政策室まちづくり係長より説明がありましたが、このことにつきましては、中原委員が検討委員会へ参加していましたので、中原委員からも参加して感じたことなどがありましたら感想などをお願いできればと思います。

(中原委員)

複合施設ということで図書館と公民館の連携をどうやっていくのが、今後の問題になるというのはありました。これからきっと細かくやっていくうちにそれも整理されていくと思われます。

駐車場のことは、これからももっと考えていただきたいです。

最後に、若い人たちへ説明が必要というのも、そのとおりだと思います。税金を使っていくので長くこの施設を使っていくためにはどういうふうにして、誰がどうやって使っていくのかという、そういう構想もいろいろ考えながら進められていくことが、検討委員会で何回も重ねてお話を聞いている中でわかりました。

(桂議長)

ありがとうございます。

検討委員会では自由に発言できたのですか。

(中原委員)

説明もきちんとさせていただきましたし、要望も全部聞いていただきました。

建築に関する専門的なことはわからないので、本当に細かいところの意見を言わせてもらいましたが、それはきちんと聞いていただきました。

(桂議長)

中原委員には今後も気づいたことを意見していただけるよう期待したいと思います。

(小山委員)

図書館の跡地というか、現在の図書館には何か図書館の機能が残ったりするものなのでしょうか。

跡地の利用はどうなっているのでしょうか。

(鴫田企画部地域政策室まちづくり係長)

基本的には図書館機能はすべてこちらから移転をさせていただいて、この施設は一旦空くような形になるかなと思っております。

現状では子育て支援施設として活用ができないかなというところは考えているところでございます。

実際令和4年度に耐震補強工事をさせていただき、せっかく工事をしてきちんと使えるような施設になっておりますので、耐用年数が来るまではこの建物は活用させていただこうかなと思っております。

(小山委員)

確かにトイレとかすごく綺麗になっているので、このまま空き施設になってしまってはもったいないと思いました。

(桂議長)

子育て支援とかそういった他の関係団体が使ってくれるといいなと思います。ちなみに耐震補強工事を行うと、何年ぐらい耐用年数が伸びるのですか。

普通だと30年とかいいですけど。

(企画部地域政策室まちづくり係長)

一般的にはこういった建物ですと耐用年数60年という設定はあるので、この建物が1974年に建てられ50年経過しているので、あと10年ぐらいは、耐用年数としてはあるだろうというところになるかなと思います。

(桂議長)

あと10年したら壊しますか。

(鴫田企画部地域政策室まちづくり係長)

そのときの劣化状況にもよるとは思います。

危険であれば閉じないといけないということにはなるかなと思います。

(須磨谷委員)

この後はどうなるかっていうのを一番聞きたいのですが、新しい施設は令和10年に完成とのことですが、実際に移動するのは何月とか決まっていますか。

(鴫田企画部地域政策室まちづくり係長)

令和10年度の移転のに向けた工事期間を考えているところです。

(須磨谷委員)

きさらづ点訳の会も高齢化が進んでいます。

新しい人が入ってくればいいのですが、駅からの距離が遠くなることもあって、移転したら通うことができるのかなという心配です。

(桂議長)

説明会でも移動手段を確保して欲しいという質問とかご意見がありましたね。

(鴫田企画部地域政策室まちづくり係長)

オープンハウス型の説明会では、足を心配される声をかなり多くいただきま

したので、今イオンタウン株式会社が運行する駅前を巡回しているバスを、吾妻公園の方まで延ばすということを考えているところです。それ以外の駅からの交通手段も考えたいと思っております。

(須磨谷委員)

バスだと、駅まで来てまたそこで乗り換えていくような、そんな感じですか。

(鴫田企画部地域政策室まちづくり係長)

そうですね場所にもよると思います。

(桂議長)

他にありますか。

(事務局)

本日欠席の伊藤委員から事前にメールいただきまして、令和7年度の事業計画についてはわくわくする事業が並んでおり、大変興味深いものでしたとのコメントをいただきました。

また文化芸術施設を含む計画については、自習スペースや閲覧席が管理カウンターから遠い点などについて皆さんのご意見を伺いたいですとのメールをいただきましたのでご紹介します。

(桂議長)

まだ今後見直しすることは可能ですか。

(鴫田企画部地域政策室まちづくり係長)

はい、もちろんそうです。

そういったご意見は大変貴重だと思いますので、施設の中のどこに何を置かかというところはこれからもっと検討していくべきだと思っています。

(桂議長)

事務局から他に何か報告事項はありますか。

(事務局)

ありません。

(桂議長)

以上をもちまして予定されている議題はすべて審議を終えることができました。

本日は任期最後の定例会でございました。皆様方には2年間ご協力いただき、誠にありがとうございました。

それでは進行を事務局にお返しいたします。

事務局よろしくお願いいたします。

(事務局)

長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。新年度につきましては、新たに委員の委嘱をいたしますが、頂戴いたしました貴重なご意

見などは、来年度の業務の推進・発展に反映しながら図書館を運営してまいります。

皆様には今後もなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

それでは令和6年度第2回図書館協議会を終了いたします。

議事録署名人 委 員 小山 百合子

委 員 須磨谷 幸子